

池田市細河地区 地域産業の発見と発信



池田市細河地区の観光活性化に向けて、地域の児童を巻き込んだ環境教育および地域産業振興に関する活動を展開しています。

種まき作業について児童にレクチャーする様子

活動の概要

目的	大阪府池田市細河地区における地域産業の振興による観光活性化
連携メンバーおよび役割	池田市役所・・・小学校・関係団体との交渉・企画実施の支援 細河地域コミュニティ推進協議会・・・企画全体のマネジメント・地域協力者との調整 関西大学政策創造学部 橋口勝利ゼミ・・・地域振興プログラムの企画と運営
活動地域	大阪府池田市細河地区
活動期間	2009年～（継続中）

連携の経緯

池田市と関西大学は、地域分権の推進に関する条例制定に向けた相互協力や池田市長（当時）の客員教授への招へいなどを契機として2008年に連携協定を締結。さらなる地域分権推進に向け、細河地区の活性化に大学として取り組むことについて打診があり、活動が始まった。

解決すべき課題

- (1) 地域産業の担い手減少
- (2) 新たな産業の育成（農業活性化）



農作業に集中する児童と学生

伝承遊びを楽しむ様子

大学の役割

活動当初、橋口ゼミは池田市の橋渡しにより、細河地域コミュニティ推進協議会との協力関係を構築。地域の児童への環境教育を兼ねた観光活性化策を提言すべく活動を開始した。

活動初期はお寺や田園風景などを活用したウォークラリーの実施によって地域資源の発掘を果たした。それらの活動によって豊富な地域資源に触れる中で、活動は地域産業体験型の活動に発展。植木を使ったクリスマスツリーや炭焼きアートを地域の児童とともに企画・実施した。

そして現在、活動はさらに発展を遂げ、細河地域コミュニティ推進協議会が主催するイベント「ほそかわフェア」内で、地域の児童と協働して地域の名産である細河大根の栽培と収穫を行っている。収穫された大根は池田市内全域の小学校の給食材料として提供され、その日は学生が考案する大根の献立が採用された。2016年度には中学校からも要請を受け、給食材料を提供する予定。これらが実現するまでの市や給食センターとの調整は、橋口ゼミの学生が担った。

本活動が当初より児童への環境教育を兼ねていたことは先述のとおりである。これは児童に対し、故郷への誇りや肯定的なイメージを与え、未来の地域の担い手を育成することを狙ったものであり、長期的な地域振興策であるといえる。今後も地域産業に根付く活動を展開していくことを予定している。

成果

- (1) 地域資源の発掘
- (2) 各種企画の実施
- (3) 細河大根の栽培・収穫と給食でのふるまい



大根の種まき

研究者の紹介



政策創造学部 准教授
橋口 勝利
(はしぐち かつとし)

現場の声

- ・中山 渉（政策創造学部3年生）

私たち「細河班」は、将来の細河を担う子供達に細河への愛着を持ってもらう事を目的として活動をしています。そこで意識しているのは、子供達に少しでも細河の魅力を知って頂く為に、私達大学生が地域の大人の方々や地域の子供達を繋ぐ架け橋になる事です。

イベントでは、作物を育てる喜びや、地産地消、里山の保全問題など小学生には少し難しい内容もありますが、地域の方々や力を合わせて理解しやすいように、楽しく学べる体験型学習にするなどの工夫をしています。

私たちの活動が地域に対して愛着を持つきっかけになり、少しでも地域に根ざした若者世代が現れてくれるようになれば嬉しいです。

- ・永津 円花（政策創造学部3年生）

池田小学校区域では、紹介した事例以外にもさまざまな活動を行っています。

私たち「池田班」の目標は、池田小学校区を子育て世代が住みやすい街にすることです。

私たちは池田小学校で行われる「平和の集い」や「MTP」というイベントにブースを出させていただいています。子どもたちが楽しみながら池田に愛着を持ってもらえるようなブースができるように、地域の中学校の生徒会と一緒に力を合わせて企画しています。

またイベントでは、池田の子育てに関する情報を掲載した『子育てマップ』を作成し、子育て世代の方に配布しています。その際、子育て世代の方に、池田で子育てする上での悩みの声を集めています。それを市役所の方やコミュニティの方に向けてプレゼンテーションし、市民の声を届ける架け橋の役割をしています。